

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和８年度第２回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 令和８年８月２６日（水）１４：００～１５：３０

開催場所 本庁１５階 １５Ｃ会議室

令和 8 年度第 2 回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

令和 8 年度第 2 回北九州市入札等監視委員会

2 開催日時

開催日時 令和 8 年 8 月 2 6 日（水） 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0

開催場所 本庁 1 5 階 1 5 C 会議室

3 出席委員（五十音順）

城戸 將江、中里 彰宏、樋上 弥寿子、三輪 仁

4 議事

（１）令和 8 年度第 1 四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

（２）令和 8 年度第 1 四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、令和 8 年度第 1 四半期に契約をした工事の中から、三輪委員が 1 0 件（契約課契約分 9 件、西部整備事務所契約分 1 件）を抽出した。

イ 審議における質疑等

（問） 総合評価、一般競争入札による建築工事で、入札参加業者 8 者のうち 4 者が辞退又は失格となったが、落札額 4 位の業者が落札しているため、入札内容を知りたく抽出した。

（答） 本工事は、守恒小学校管理教室棟の内部改修、屋上防水改修、外壁改修等を行う工事である。現場は、多数の生徒、教員が利用しながらの工事となるため、学校側と利用者の安全に十分配慮した安全対策について協議を行う必要があり、企業及び配置予定技術者を評価する特別簡易型の総合評価落札方式を採用した。

今回の落札者は有効な応札者 4 者の中で、入札額は最も高く 4 位であるが、技術評価点が 1 位であり、結果として総合評価値が 1 位となったため、落札者と決定した。

（問） 総合評価、一般競争入札による建築工事で、総合評価における建築工事の中でも落札率が比較的低いことから抽出した。

（答） 本工事は、二島中学校の外壁改修及び屋上防水改修を行う工事である。現場は、多数の生徒、教員が利用しながらの工事となるため、学校側と利用者の安全に十分配慮した安全対策について協議を行う必要があり、特別簡易型

の総合評価落札方式を採用した。

今回の落札者は、応札者の中で技術評価点は3位であるが、入札額が最も低く、結果として総合評価値が1位となったため、落札者と決定した。落札率、基準価格を勘案しても、適正な競争が働いた結果の妥当な額であると考ええる。

(問) 一般競争入札による電気工事で落札率が約67%と低かった理由を知りたく抽出した。

(答) 本工事は、香月中央公園運動場の高圧受変電設備を改修する工事である。直接工事費に占める機器費の割合が非常に高く、最低制限価格を設定していないため、機器を安価に入手できる業者が落札する結果となった。

(問) 総合評価、一般競争入札による造園工事で、総合評価方式を採用した案件の中で、入札参加者が3者と2番目に少ないため、工事内容を知りたく抽出した。

(答) 本工事は、八幡東区桃園公園内のわんぱく広場南側において、ジャングルジム、滑り台、うんてい等の遊具設置及び広場整備を実施するものである。一般的な広場整備工事であるが、公園利用者の安全に配慮する必要があるため、特別簡易型の総合評価落札方式を採用した。

造園の市内のAランク業者を募ったが、会社規模や総合評価の経験の有無などから、応札者が少ない傾向にある。結果として、参加申請した3者による競争が行われ、入札額、技術評価点がいずれも1位の業者が落札した。

(問) 一般競争入札による電気通信工事で、予定価格が3億円に近いが、入札参加者が4者と少ないため、入札内容を知りたく抽出した。

(答) 本工事は、北九州芸術劇場中劇場の音響設備を更新する工事である。同規模の劇場における音響設備の実績のある専門業者は全国的にみても数社と少ないが、一方で劇場の運営に配慮した迅速な対応が求められることから、県内に事業所があることを入札参加条件とした。

税込金額は3億円を超えるが、市内の一般的な電気工事業者では対応できないため、結果として、入札参加者に求められる実績要件を満たす専門業者4者からの応札となった。

(問) 指名競争入札による建築工事で、指名業者数が26者と比較的多いが、落札率が100%になった理由を知りたく抽出した。

(答) 本工事は、市役所本庁舎6階の女子トイレを改修する工事である。市役所業務を通常運営しながらの工事であり、施工時間の制約等もあることから人気がなかったものと思われる。

指名業者26者のうち、応札者は3者で、最も低い額で応札した者が最低

制限価格を下回ったため、失格となり、予定価格と同額で応札した2者のくじ引きにより落札者を決定した。

(問) 随意契約による機械器具設置工事で、本件を特命契約とした理由を知りたく抽出した。

(答) 本工事は、太刀浦コンテナヤードに設置されている10号クレーンの走行電動機を取替をはじめ、その他の機器の取替を行うものである。

クレーンの性能に大きな影響を与える工事であり、周辺装置との整合も含めた高精度な機器の製作・据付・調整が必要であることや、安定的な運用や安全面から高度な知識や経験が必要であること、そして、仮に他社への発注で不具合が生じた場合は責任区分が不明確となり、メーカー保証が得られないことなどから、製造メーカーと特命で契約を行った。

(問) 総合評価、一般競争入札による土木工事で、入札参加業者16者のうち6者が辞退等となったが、落札額8位の業者が落札しているため、入札内容を知りたく抽出した。

(答) 本工事は、小倉南区沼本町一丁目地区の浸水解消を図るため、雨水管を推進工法により築造する工事を実施するものである。

掘削の特徴を踏まえると、安全管理に関する施工計画の提案を求めて落札者を決定することが有効であるため、総合評価落札方式を採用し、土木の市内のAランク業者を募った。参加申請は16者で、6者辞退により、10者での競争が行われた。

入札額と技術評価を含めた、総合評価が最も高い業者が落札するもので、今回は技術評価点1位、落札金額8位の事業者が落札者と決定した。

(問) 一般競争入札による水道施設工事で、入札業者数が最も多いため、工事内容を知りたく抽出した。

(答) 予定価格が約2,700万円であることから、水道施設の市内のA・Bランク業者を募った。

参加申請は88者であったが、13者が直前に入札を行った同種工事の落札者となったため取消となり、7者が辞退して67者による競争が行われた。開札を行った結果、最低制限価格を下回った17者が失格となり、最低制限価格を上回った者の中で、最も低い価格で入札した者を落札者と決定した。

今回の工事は、一般的な水道施設工事で施工が特別困難ということはなく、入札に参加しやすい状況だったことから参加業者数が多かったのではないかと考えている。

(問) 指名競争入札による土木工事で、電子入札を行わなかった理由を知りたく抽出した。

(答) 工事場所が市外の芦屋町の工事であるため、地域性を考慮し芦屋町の業者で選定を行った。当初は、電子入札での実施を検討していたが、指名した業者が電子入札に関する登録を行っていないことが判明したため、紙入札に切り替えて実施した。